



住みよい須磨の街づくりのために全力投球します!!

神戸市会 NEWS VOL. 76 2018.春号



須磨区のために真剣です!

こうべ市民連合議員団
幹事長
神戸市会議員(須磨区)

大井としひろ

■編集・発行: こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 / TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

平成30年度予算特別委員会で、会派を代表して代表質疑を行いました。

ガラス瓶の再資源化率向上を図るため、4年後にビンの単独収集が始まります

予算特別委員会・環境局関係 平成30年3月5日

Q. 大井としひろ 「ガラスびんのリサイクルについて」

「市民への周知方法について」

4年前の本会議で質問して以降、環境局においてもびんの資源化率の向上を進められてきたが、抜本的な改善を図るためには、びんのみでの単独排出、パッカー車ではなく平ボディ車による収集運搬が必要不可欠であると、かねてより指摘してきた。このたびの方向性は、これらが概ね反映されたものと評価している。

平成32年度以降、一部地区で試行、34年度から全市展開を図るとのことだが、平成15年の缶・びん・ペットボトルの全市混合収集開始以来の排出方法の改正であり、市民の方にとっては混乱が予想される。32年度から一部地区での限定実施ということで、全市を対象とした大々的な広報とは異なる対応が必要となる。対象地区の市民の方へ、排出方法の変更をいかに周知徹底していくつもりなのか、現時点での考え方を伺う。



A. 環境政策部長

ご指摘のとおり、びんの単独収集は、現行の3種混合収集の分別区分が始まって以来の変更であり、市民への制度変更の周知徹底が不可欠であると考えている。

試行の周知については、一部での実施になることから、現時点では、自治会をはじめとした地域団体を通して、様々な機会・方法により、排出方法の変更についてのきめ細かい周知・広報を行うことになるものと想定しているが、「缶・びん・ペットボトル混合収集」や「容器包装プラスチック」の試行実施のノウハウを生かしながら、平成30年度に、更に具体的に検討してまいりたい。

健康づくりセンターの廃止について

予算特別委員会・保健福祉局関係 平成30年3月2日

Q. 大井としひろ 「健康づくりセンターの廃止について」

健康づくりセンターの廃止に至った経緯と、今後の健康ライフプラザの活用方法について伺いたい。

A. 健康部長

事業内容や行政が行う必要性等について検討した結果、広く一般の市民を対象とする健康づくり事業を、多くの一般財源を投じ拠点施設を設置して行う意義は小さいと判断した。

そのため公の施設としては廃止し、今後は健康創造都市KOBEOの取り組みとして、健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目的に資する施策として、国保被保険者及び生活保護受給者などを対象として、保健指導や生活・運動指導等の健康課題を抱える方に対する事業を行う施設に組み替えてまいりたい。

利用者の方への周知については、指定管理事業者と協力しながら、今後の見直しの内容も含めて、丁寧に対応していきたい。



■■■ 詳細は、大井としひろ公式ホームページをご覧ください ■■■

検索 大井としひろ

市政についてのご意見・ご要望をお聞かせください。

何事によらずお気軽に
ご相談下さい。

神戸市会議員

大井としひろ

事務所: 神戸市須磨区飛松町1丁目4番9号 吉川ビル1階
TEL 078-735-1103
自宅: 〒654-0132 神戸市須磨区多井畑南町22-15
TEL・FAX 078-743-6155

■メールアドレス ooi@kobe-001.com
■公式ホームページ http://kobe-001.com
■おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi

大井としひろの街頭活動

朝の街頭活動を行っています。身近な問題でもなんでも結構です。お気軽にお声掛けください。

午前6時30分～8時30分

●月曜日…地下鉄名谷駅 ●水曜日…地下鉄妙法寺駅
●金曜日…JR須磨駅